

# 田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会ニュース

～子どもたちのより良い教育環境のために～

Vol. 9 発行 横須賀市教育委員会 2023.12



11月16日に開催した第7回田浦地域小中学校教育環境整備検討協議会の内容についてお知らせします。

## ○第7回地域別協議会の主な議題

- ・田浦地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る答申について

### 1 田浦地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る答申について

第7回の協議会では、10月31日に横須賀市立小中学校適正配置審議会から教育委員会へ以下のとおり答申されましたので、その内容についての説明等を行いました。

答申では「学区を編入する」という表現が使われていますが、両校が「統合」し、新たな学校になるという考え方です。

#### (審議会からの答申)

##### 1 答申内容

田浦小学校区を長浦小学校区に編入する方策が妥当である。

##### 2 理由

田浦地域においては、田浦小学校の学校施設の老朽化及び田浦小学校と長浦小学校の学校規模の小規模化が課題となっており、現地での建て替えが困難であることから、両方の課題を解決するための方策として判断した。

##### 付言

教育環境整備の方策を実施するに当たっては、両校の児童が円滑に新たな環境で学べるようにすることや通学の安全を確保する方策を講じる必要があると考えます。

また、通学路が遠距離となっている地域もあることから、今後は、全市的な遠距離通学に対する方策の検討が必要であることを申し添えます。

**今後、教育委員会において答申に基づき審議を行い、方策を決定します。方策の決定時期は年明け以降となります。**

田浦地域における市立小中学校の教育環境整備の推進に係る答申について、協議会委員の皆様のご意見を伺いました。

- 答申において、編入という言葉のイメージが、統合とは少し違うように感じます。統合と言うと、新しい学校ができるので、校名や校歌をどうするか、といったことまで検討できますが、編入となると、ニュアンスが違うように感じます。
- 長浦小学校区の保護者や地域の方は、長浦小学校は受け入れる側なので、特に影響はないと考えている方が大多数だと思います。その中で、地域説明会でそのことに触れないと、決定してから、実は校名等が変更となり、時期は令和7年であるという話が出てくることになるので、ハレーションの元になると思います。  
丁寧の説明していただければと思います。
- 統合ということで打ち出していくのか、それとも、答申のとおり学区の編入ということで、今後学校をどうしていくかについては、別で決めていくのでしょうか。そこを整理しないと、地域説明会の際に混乱すると思います。
- 長浦の人たちは、長浦小学校の名前は変わらないと思っている人が多いと思っており、今後の検討次第では、校名や校歌が変わる可能性もあるというのは驚くと思います。
- 長浦小学校の名前がなくなるのはとても悲しく、150周年を迎える伝統のある学校です。また、校歌は有名な方が作曲、作詞をしているので、できれば残して欲しいと思います。地域の皆さんも、残して欲しいという声が多いのではないかと。
- 1年程度準備期間を設けて、最短で令和7年4月というお話がありました。令和6年度の1年間は、統合に向けての計画の年、そして次の1年間は、その計画に則って必要な交流等をしていく年にする必要があると思います。交流した方が良いこともあれば、それぞれの学校でやった方が良いこともあると思うので、そのようなことを単発的に判断しないためにも、1年間は十分に計画し、その次の1年間で、必要な準備を進めていくというスケジュールが良いと思います。  
方策が決まったら、まず通学路に係る環境整備だと思います。通学路に係る環境整備は1番の課題なので、具体的に、通学の安全について、何ができて、何を整備していく予定があるのかということにも触れていただければと思います。
- スクールバスについては、昨今ドライバー不足と言われている問題があります。定期券の補助については、子どもたちだけで路線バスを利用するのか、田浦小学校の約130人の児童に係る輸送能力が路線バスにあるのかといった心配もあります。  
トンネルを歩くということはありませんので、通学にかかる安全の整備は、保護者が安心できるように、具体的に示していただければと思います。
- 方策と時期が決定した後に、通学路の問題や子どもたちの安全安心、地域の活動についてといった課題に対する地域の意見を聞きながら準備をするということだと思います。最短で令和7年4月ということでしたが、4月になった段階で準備ができなかったということはないようにしていただきたい。

- 子どもと保護者の安全安心を第一に考えて、地域の意見に耳を傾けて準備していただければと思います。
- バス代の補助という話がありましたが、無料にしていきたい。
- 学校に通うために家庭がお金を負担しなくて済むようにしてほしいです。以前、他の地域で補助をしていないので難しい、といった話もありましたが、是非お願いします。不登校の問題を考えたときに、補助が出たとしても、家から学校まで距離があるということが一つの原因になってしまうのではないかとということが心配です。教育委員会にはそういった点も考えてほしいです。また、PTAで学校へ行った際に職員室の人数が少ないことが気になります。教職員の人数に余裕をもって配置していただきたいです。児童数が増えると良い面もありますが、教職員の負担は増えると思いますので、教員だけでなく、事務職員等も含めて余裕がもてるようにしてほしいです。
- 最短で令和7年に統合という話でした。統合する場合についての予算は考えていますか。方策決定後に、当初予算だけでなく補正予算も含めて、子どもたちの安全安心の面等についての対策がとれる体制をとっていただきたい。
- 田浦小学校の土地を寄付した方がいると伺いました。その子孫の方々にはもう土地についての権利はありませんが、先祖が寄付した土地で小学校ができたということをお大変誇りに思っています。そういった方がいる中で、田浦小学校の跡地が今後どうなっていくのかということは地域説明会の際にご説明いただけますか。また、学校がなくなることで、幼稚園、保育園、学童、店舗等に関わるまちづくりという観点において、行政としてご説明していただける部署の方が来るのでしょうか。小学校がなくなることによる地域への影響について、どのような考えなのかを伺いたいと思います。地域説明会にまちづくりの担当部署の方も出席し、地域のご意見等を直接聞いたほうが良いと思います。
- 田浦地区、長浦地区ともに学童クラブがあります。統合した場合に、田浦地区の子が長浦地区の学童クラブを選ぶということも、各ご家庭の判断によりあり得ると思います。バスがあるとしても、学童が終わった後に安全に帰ることができるような方策を考えていただきたい。仮にスクールバスだとすると、時間に制限があります。一方、路線バスであれば安全に帰れるのか、もしくは保護者が迎えに行くのか、といったことが心配です。田浦にある社会館の学童クラブを利用しており、高学年は1人で帰ることになっているので気になります。
- 通学路の問題について、長浦小学校のPTAは旗当番等に関わっています。数年前からPTAは全員強制的ではなく、入りたくない人は入らなくても良いという形をとっているため、統合したことによる登校時の見守り等をPTAに頼まれても難しいと思います。朝の時間帯に協力できる保護者はあまりいません。
- 令和7年という時期は拙速だと思います。方策や時期の決定に関しては地域説明会での意見も反映していただければと思います。

## 2 次回、第8回地域別協議会の開催について

次回の開催日程については、未定です。

詳細が決まり次第、横須賀市ホームページにてお知らせします。

### 地域別小中学校教育環境整備検討協議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/tiikibetukyougikai.html>

QRコード



横須賀市 検討協議会



### 横須賀市立小中学校適正配置審議会について

当日資料や会議録等については、以下のホームページからご覧いただけます。

URL

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/8115/documents/shouchuugakkoutekiseihaichisingikai.html>

QRコード



横須賀市 適正配置



～皆さまからのご意見等を受け付けております～

ご意見等がございましたら、以下のファクスかEメールまでお願いいたします。

#### 事務局（お問い合わせ先）

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

横須賀市教育委員会事務局教育総務部教育政策課

電話 046-822-9751 ファクス 046-822-6849

Eメール [sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp](mailto:sc-real@city.yokosuka.kanagawa.jp)

横須賀が好み!

